

## 光サービスで新しい文化を創造

世界的に高度化・多様化するICT市場において、光ファイバー比率、固定ブロードバンド通信速度（1G）、モバイルブロードバンド普及率など、わが国の情報通信インフラ環境は世界の中でもトップクラスである。他方、わが国はICT国際競争力、電子政府発展度、学校インターネット利用率など利用者が価値を見出すサービス開発やICT利活用面においては残念ながら後塵を拝している。さらに、昨今のICT市場ではお客様の求める価値（ニーズ）が、“機能”（製品）から、“体験”（感動するサービス）に変化するなかで、サービス間競争が進展していることも見逃せない。

このような中、NTT西日本グループでは、光サービスを活用して、いかに魅力的な“体験”を創造していくかが今後ますます重要となると考え、人と人、人とモノ、モノとモノなどあらゆるものを「つなぎ」、様々な生活・行動スタイルを「デザイン」することで、人々の暮らしを豊かにする新しい文化の創造に取り組んでいる。またこのことが、お客様に光ネットワークを新たに、そして長期間ご利用いただくことにつながると確信しており、ビジネス、教育、医療、行政、街（暮らし）、交通、防災といったあらゆる分野において、安心・安全はもとより、快適性、効率性、自己実現などの多様な価値を創造し、お客様に『是非利用してみたい!』とっていただけることへとつながる。

そのためにNTT西日本グループでは、多彩なコミュニケーションサービスやモバイル市場へのビジネスを積極的に推進しており、自社開発のみならず外部リソースの活用を両輪で展開するため「アライアンス推進室」「ビジネスデザイン推進室」「クラウドビジネス部」を設置した。特に、コンテンツ・アプリケーションを中心に、お客様の強みと高度なICT基盤を有するNTT西日本グループの強みを活かしたWin-Winの関係を構築し、官民連携トライアルはもとより各方面とのビジネスアライアンスを実施している。

例えば、医療分野では、広域的な医療連携や効率的な医療サービスが求められていることから、クラウド技術とデータセンタ基盤を活かした医療画像の保管サービスや、企業健保組合様および病院様と共同で遠隔健康指導を実施している。

観光分野では、自治体様と連携し、これまでホームページなどでパソコン向けに配信していた観光情報や行政情報の動画を「光BOX+」を用いてテレビ向けに高画質で提供し、地域の活性化に貢献している。

教育分野では、学習塾様と連携しスマートフォンやタブ

レット端末と光Wi-Fiを組み合わせて、必要な塾の講義（コマ）映像を自宅に配信する「リビング学習サービス」を提供し、いつでも、どこからでも教育を受けられる環境の整備に取り組んでいる。

また、電力を大量に使用する企業として省エネや環境問題に対応すべく、「グリーンNTT西日本戦略」を策定し、自社の電力使用量の削減など

に取り組むとともに、省エネ社会の実現に向けて電力の見える化サービス「フレッツ・エコめがね」の提供やオムロン様と共同で㈱NTTスマイルエナジーを設立し、HEMSなど家庭向けの省エネ支援サービスや家電遠隔制御システムのトライアルなどを実施している。

地域社会全体の活性化に向けた「スマート光ライフ（家デジ）」「スマート光オフィス」「スマート光タウン（街デジ）」の実現にも取り組んでおり、熊本県・市様と共同で行政サービス効率化、産業振興、住民参加型の自治、コミュニティの活性化など様々な課題解決に向けて、ICT基盤（プラットフォーム）、コンテンツ・アプリケーションによる新たなコミュニケーションモデルを創出している。

さらに、イーサネットやVPNなどのビジネス向けネットワークサービスの充実やオフィスICTをフルサポートする営業スタイルへの転換など戦略的に事業を展開している。

加えて、地域密着型企業として、これらビジネス戦略はもとより、サービス品質の向上に向け、マイグレーションや設備のスリム化を図る設備戦略、それらの実行主体となる人材の確保・育成戦略についてもNTT西日本グループで取り組んでいく。

これらの取り組みを通じて、フレッツ光の契約数900万の早期実現とARPUの向上により、音声系収入の減少をIP系収入の増加で補いきれないという収入ギャップを早期に解消し、安定した財務基盤の確立と持続的な成長を実現していく。

繰り返しになるが、真にお客様が必要とするサービスを提供し、新たな文化の創造を続けていくことが私たちNTT西日本グループの第一の使命である。



西日本電信電話株式会社  
代表取締役社長  
村尾 和俊氏